

アンカーボルト引張荷重確認試験機 AT-200

特 徴

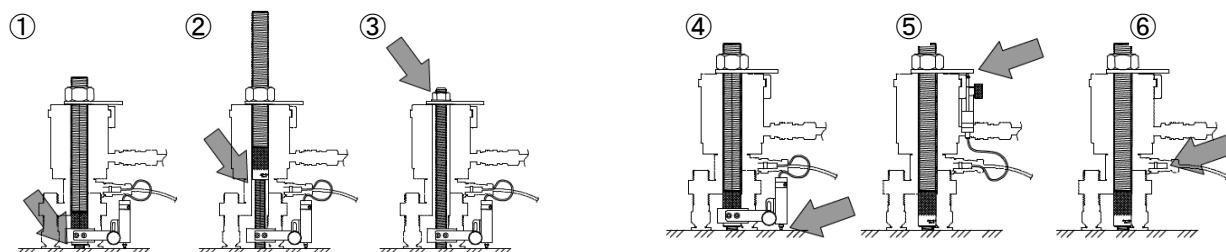
- ◆最大荷重200kNまで測定できます。
- ◆直径34.5mmの大口径センターホールで、オプションのD筋チャックを使用すれば、異形鉄筋D25まで試験できます。
- ◆デジタル表示で荷重と変位を同時に測定・保存できます。保存したデータは付属のソフトでパソコンに取り込み、報告書作成が行えます。
- ◆アルミシリンダーの採用で、本体重量11kgに軽減され、ワンタッチカプラーで油圧ホースも簡単に接続できます。
- ◆バックライト機能で数字がくっきり見え、デジカメでの記録用撮影も安心です。
- ◆国土交通省 新技術情報システム
NETIS登録 No.KT-170007-VE
- ◆オプション D筋チャック、プリンタ

仕 様

荷 重	最大荷重：200kN	測定範囲：0～200kN	最小表示値：0.1kN
変 位 量	最大変位量：15mm	測定範囲：0～15mm	最小表示値：0.01mm
対象アンカー	M16～M24、W5/8～W1 異形鉄筋 D10～D25 (D筋チャック使用時) ※供試体とカップリングのはめあい長さは、最低でもアンカーのネジ径以上の長さが必要です。		
傾斜補正範囲	±5度		
荷重・変位精度	非直線性：±1.5%F.S±1 digit		
データ蓄積	グラフデータ 99件 (荷重-変位曲線データ) ポイントデータ 9,999件 (試験日時・最大荷重値・最大荷重時の変位値)		
そ の 他	最大値ホールド、設定値によるブザー音、オートパワーオフ		
大きさ・重さ	収納箱 本体 320×215×230mm 測定部・ポンプ 620×255×250mm 付属品 420×255×325mm 本体 11.0kg、測定部 1.0kg、油圧ポンプ部 3.9kg		
電 源	単3アルカリ電池×4本 【電池寿命】連続使用時間約30時間 (バックライト無点灯時)		

※ 専用ソフト 対応 OS Win 10、Microsoft Excel2013 以上がインストールされていること。

試験方法



《アンカーの長さによる方法》

- ①センターシャフト式1 供試体が短い場合
アンカー突出長 60mm 以下
- ②センターシャフト式2 供試体が試験機の内部に入る場合
アンカー突出長 60～230mm
- ③センターホール貫通式 供試体が試験機の上面から出る場合
アンカー突出長 310mm 以上

《変位測定法による方法》

- ④直接変位測定法
供試体の根本に変位計を直接固定するため、アンカーの変位をより正確に測定することができます。
- ⑤間接変位測定法
試験機の側面に変位計を固定する為、セットが簡便に行えます。
- ⑥変位測定を行わない場合
ダミープラグを用いることにより、確認荷重の試験のみ行う場合に対応できます。